

「はっぴいさんぼうー和算の世界へようこそ！」


会場：宮城県図書館（2階展示室）
入場無料

期間：平成20年10月25日（土）～11月24日（月）
図書館開館日の9：30～17：00まで

概要：和算とは、江戸時代に日本で独自に発展した数学です。その和算の先駆者ともいえる関孝和の没後300年を記念し、東北大学で所蔵している和算コレクション約2万3千冊の中から、林鶴一宛「関流和算免許状」など代表的な資料を多く展示するとともに、会場となりました宮城県図書館所蔵の資料を数多く展示し、和算の歴史と内容、測量術との関わりなどを解説します。自然豊かな地を会場に、日ごろのざわめきから開放されて、ひととき江戸の昔の算数（和算）に浸ってみませんか。

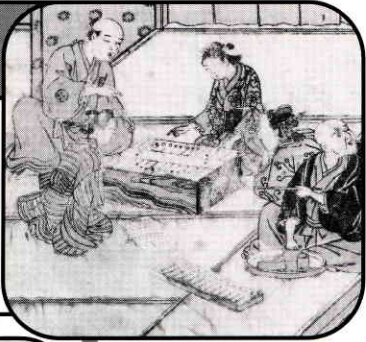
第1部
といてみよう！和算の問題

和算には高度な問題がある一方、クイズ番組で出題されるパズルのような問題もたくさんあります。それらの問題を通じて和算の世界をのぞいてみましょう。



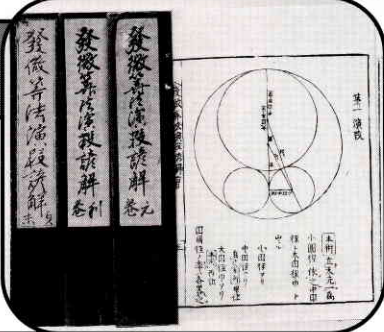
第2部
のぞいてみよう！塵劫記の世界

暮らしの中の算や遊びとしての算が、やがて専門家同士がしのぎを削る純粋数学まで展開してゆく様子を、江戸の数にまつわる話題と初期和算書で紹介します。



第3部
ふれてみよう！和算家の人生

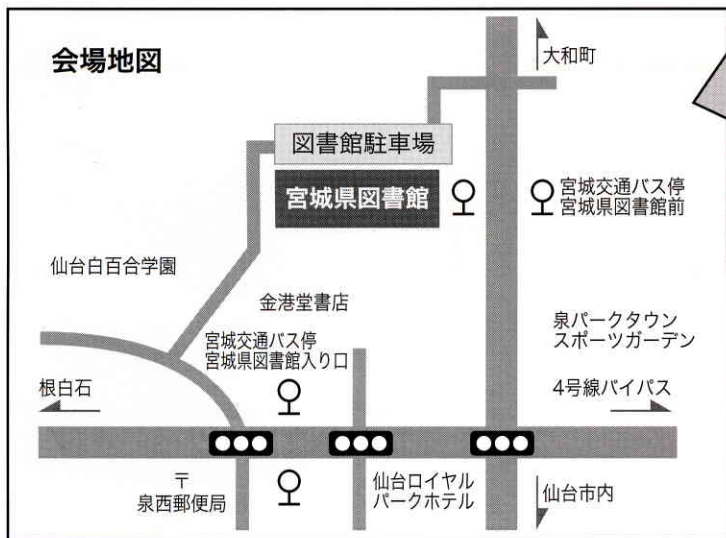
関孝和により体系化され大きく花開いた和算は、様々な流派の算家が技を競い合い、その成果が仙台の地までもたらされました。和算家たちの残した書を通じて、彼らの生き方にふれていきます。



関連イベント

「記念講演会」 会場 宮城県図書館2階「ホール養賢堂」

<p>10/25(土) 13:30-15:30</p>	<p>講師 遠藤 寛子氏(作家) 演題 「算術少女のなぞ」</p>	<p>小説『算術少女』と和算書『算術少女』との関係や、アイデアを得て小説が生み出されるまでを、作者ご自身によりお話しいただきます。</p>
<p>11/ 8(土) 13:30-16:15</p>	<p>講師 土倉 保氏(東北大学名誉教授) 演題 「和算を楽しんだ江戸時代の人々」</p> <hr/> <p>講師 萬 伸介氏(宮城教育大学教授) 演題 「いろいろな見方で楽しもう！和算の問題」</p>	<p>江戸文化の中心的な意向である、「美を模索し、それを作り上げていく楽しさ」と、和算で扱う美しい図形、正確な計算や、その表現との関係についてお話しいただきます。</p> <hr/> <p>和算を題材にして、小学校の算数・図工、そして中・高等学校の数学等のいろいろな見方・考え方・作業を紹介。和算の楽しみ方の一面を紹介していただきます。</p>



会場アクセス
自家用車かバスでお越しください。バスの場合は、地下鉄泉中央駅から宮城交通バスをご利用ください。「泉パークタウン方面」宮城大学・工業団地経由泉パークタウン車庫前行き（バスプールの3番のりば）で、「宮城県図書館前」が最寄りのバス停です。もしくは、仙台駅前2番のりばから、県庁市役所・双葉ヶ丘経由 または 上杉通・双葉ヶ丘経由「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前行」をご利用ください。

主催：東北大学附属図書館／宮城県図書館
協賛：東北大学研究教育振興財団
後援：(NHK) 仙台放送局 TBC 東北放送 仙台放送
エフエム テレビ KHB 東日本放送 Date fm 仙台放送
河北新報社、朝日新聞仙台総局、毎日新聞仙台支局
産経新聞社東北総局、読売新聞東北総局